

かんりんまる

# 咸臨丸の眠るサラキ岬の交流観光拠点づくり

（北海道・木古内町）



毎年多くの人々が訪れる約80種5万球のチューリップが咲き誇る花園



全国各地から訪れる咸臨丸にゆかりのある地域や団体との交流



咸臨丸や地域の歴史を学ぶ講座や学習会の開催



咸臨丸ゆかりの地域への訪問、交流

サラキ岬に設置されている咸臨丸モニュメントや終焉記念碑（写真右下）

サラキ岬は、津軽海峡に面し、函館山や下北・津軽半島が一望できる自然豊かな景勝地で、激動の幕末維新に日本近代化の一役を担い、戊辰戦争や北海道開拓にもゆかりのある「咸臨丸」の終焉の地です。

郷土に眠る歴史的遺産の咸臨丸を地域資源として掘り起こし、サラキ岬周辺の豊かな自然風土を活かした広域的な交流観光拠点づくりによって地域を活性化させようと、地域の有志で取り組み、さらに活動を発展させるため、平成16年、地域住民を中心に「咸臨丸とサラキ岬に夢みる会」が結成されました。

当会では、序々にチューリップ花園の造成や毎年の手入れをはじめ、地元企業の協力による史跡看板や咸臨丸終焉記念碑、咸臨丸モニュメントの整備などを行い、サラキ岬を観光交流拠点として充実させています。

また、チューリップフェアや終焉セレモニーなど咸臨丸にちなんだイベントの開催や小中学校、高校での咸臨丸講座、地域の歴史やまちづくりを学ぶ学習会の開催、広報誌の発行等、幅広く内外へ情報発信する多様な取組を行うことにより、サラキ岬に多くの人々が訪れるようになりました。

更に、咸臨丸ゆかりの全国各地域や子孫の会などの団体と交流を図るなど活動の輪を広げています。

現在は、地元の関心も高まり、約500名の幅広い年齢層の会員により、一人ひとりが誇りうる地域を盛り上げるために自主的な活動を展開しています。

## ●活動主体

咸臨丸とサラキ岬に夢みる会

上磯郡木古内町字本町669

TEL:01392-2-2792

## ●施設所在地

木古内町字亀川

